

## 「生産性フォーラム in 高知」参加申込

当本部ホームページ(<http://www.spc21.jp/>)のトップ画面左側の事業受付画面からインターネット(24時間受付)でお申し込みください。携帯電話やスマートフォンからお申し込みの場合は、本パンフレット記載の専用QRコードからお申し込みください。



### パソコンからの新規申込の場合

四国生産性本部



### 携帯電話等からの新規申込の場合



右記QRコードから受付画面へお進みください。

※インターネット受付にあたり、携帯電話等のメールアドレスをご登録される場合は、お使いのメールソフトの設定により当本部からのメール(@spc21.jp)が受信できなかったり、迷惑メールと判断される場合がありますので、予めお申込・お手続きの前にお使いのメールソフトの設定をご確認願います。

### 個人情報の取り扱いについて

- 1 参加申込によりご提示いただきました個人情報は、当本部個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.spc21.jp/>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認・ご理解のうえお申し込みいただきますようお願いいたします。
- 2 個人情報は、本フォーラムに関わる参加者名簿等の作成・配布ならびに当本部が主催・実施するサービスのご提供や事業のご案内のために利用させていただきます。但し、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。
- 3 個人情報の開示、訂正、削除については、総務広報部 個人情報保護担当窓口(TEL:087-887-0512)までお問い合わせください。



2016年度

# 生産性フォーラム

in 高知

～激動する企業のマクロ環境を読み、明日の経営の舵取りに活かす～



2016年10月～2016年12月



ザ クラウンパレス新阪急高知

高知市本町4-2-50 TEL(088)873-1111



高知県下の企業経営者ならびに経営幹部、支店・営業所・工場の幹部社員、労働組合幹部

(ご登録1名につき同企業・組合・組織内から無料で同伴1名可)

問合わせ先

**四国生産性本部 総務広報部** [担当:山本]  
〒760-0033 香川県高松市丸の内2番5号(ヨンデンビル4階)  
TEL(087)887-0512 FAX(087)851-4270  
HP:<http://www.spc21.jp/> E-mail:toiawase@spc21.jp



主催 / 四国生産性本部 同 高知県支部  
後援 / 高知県商工会議所連合会

## 開催のご挨拶

おかげさまで当本部は、平成28年4月に設立60周年を迎えることができました。これまでの当本部の事業活動に対するご支援・ご協力に対し、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承のとおり、我が国はグローバル競争の進展や少子高齢化に伴う労働人口の減少など、数多くの構造的な課題を抱えており、その対応が急務となっています。こうした中、我が国経済が持続的な成長を遂げていくためには、産業界労使のリーダーシップのもと、マクロ環境の変化を正確に把握しつつ、経営革新と人材育成への取り組みを通じて、グローバルな企業競争力を高めていくことが重要な課題となっております。

本フォーラムは、斯界の第一人者を講師にお招きし、専門的な立場から時代の流れと予測される変化を解説していただくなど、皆様方の事業運営や指針形成、課題解決に役立つ生きた情報を積極的にご提供して参ります。時節柄、要務多忙のことは存じますが、貴台ならびに貴社経営幹部の皆様のご出席を賜りますよう、心よりお待ち申し上げます。

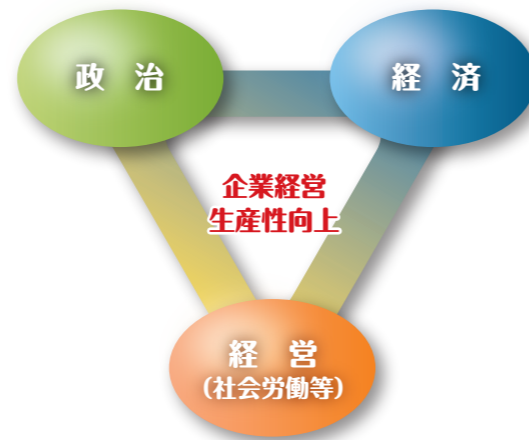
四国生産性本部 会長 佐伯勇人  
同 高知県支部 支部長 青木章泰

## 本フォーラムの構成

本フォーラム(第1例会～第3例会)は、四国内企業・団体等の生産性向上と参加者相互の交流を目的として開催します。

マクロの経営環境といわれる「政治」「経済」「経営(社会労働等)」に精通している斯界の第一人者をお迎えして、時代の流れと予測される変化等を解説していただきます。

また、「企業経営」の分野では、実業界でご活躍されている地元出身の経営者をゲストにお招きし、これまでの経験を踏まえた経営に関する卓話を頂戴するとともに、皆様方との情報交換の場としてもご活用いただけます。



### 〈会場案内図〉



(アクセス) ・高知I.C.から車で15分  
・高知龍馬空港から車で30分

## 開催概要

**と き** 2016年10月～12月(全3回)  
※各例会13:30～15:20(講演90分、質疑応答20分)

**と ころ** ザ クラウンパレス新阪急高知 3階「花の間」  
高知市本町4-2-50 TEL(088)873-1111

**参加対象** 高知県下の企業経営者ならびに経営幹部、  
支店・営業所・工場の幹部社員、労働組合幹部

**参加費** 企 業 / ご登録者1名につき  
38,880円(消費税込み:全3例会)  
労働組合 / ご登録者1名につき  
32,400円(消費税込み:全3例会)

**お申込み** 四国生産性本部ホームページ  
(<http://www.spc21.jp/>)から承ります。  
※お申込み方法につきましては、裏面をご参照願います。

**参加費のお支払い** 第1例会終了後、連絡担当者様に請求書をお送りしますので、当本部の指定口座にお振り込みをお願いします。なお、恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担をお願いします。

- 運 営**
- 1 本フォーラムは、登録会員制により運営いたします。
  - 2 本フォーラムには、ご登録者以外に同一機関内から無料で1名の同伴参加が可能です。
  - 3 各例会のご案内を「連絡担当者」様に対し電子メールでお送りします。連絡担当者様におかれましては、恐れ入りますが当本部ホームページの出欠登録フォームをご活用の上、例会の1週間前までに出席の有無と参加者名のご登録をお願いいたします。
  - 4 ご登録者のご都合が悪くなった場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。

## 第1例会 政治

2016年10月11日(火) 13:30～15:20

### 「時代の潮流を読む ～政治の動向と今後の見通し～」

政治ジャーナリスト ほそかわ たまお 細川 珠生 氏



1968年生まれ。91年聖心女子大学文学部外国語外国文学科卒。同年より92年まで、米ペパーダイン大学政治学部留学。故・細川隆一郎は父、故・細川隆元は大叔父。95年より「珠生・隆一郎のモーニングトーク」のパーソナリティを務め、現在、「細川珠生のモーニングトーク」として継続しており、番組は今秋22年目を迎える。20代からフリーランスのジャーナリストとして政治家や地方自治を積極的に取材。主に政治全般、教育、地方自治に関する執筆、講演などを行う。2003年から2011年、東京都品川区教育委員会教育委員。現在、千葉工業大学理事、星槎大学非常勤講師(現代政治論)を務める。95年父・細川隆一郎との父娘関係を綴った『娘のいいぶん～がんこ親父にうまく育てられる法』で第15回日本文芸大賞女流文学新人賞を受賞。『未来を託す男たち～次世代10人の主張』、『自治体の挑戦』、『いま、首相公選を考える』、『政治家になるには』などの著書がある。

## 第2例会 経済

2016年11月14日(月) 13:30～15:20

### 「我が国経済の動向と今後の見通し」

経済ジャーナリスト すだ しんいちろう 須田 慎一郎 氏



1961年東京都生まれ。日本大学経済学部卒業。経済誌の記者を経て、フリーのジャーナリストに転身。「夕刊フジ」「週刊ポスト」「週刊新潮」などで執筆活動を続けるかたわら、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「そこまで言って委員会NP」、ニッポン放送「あさラジ」ほか、テレビ、ラジオの報道番組等で活躍中。また、2007年から2012年まで、内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。政界、官界、財界での豊富な人脈をもとに、数々のスクープを連発している。

## 第3例会 経営

2016年12月19日(月) 13:30～15:20

### 「To Be a Good Company ～良い会社を目指して～」

東京海上ホールディングス(株) 取締役社長 グループCEO ながの つよし 永野 毅 氏  
東京海上日動火災保険(株) 取締役会長



1952年高知県生まれ。75年慶應義塾大学商学部卒業後、東京海上火災保険(現・東京海上日動火災保険)入社。大手自動車メーカーなどの法人営業や、生命保険と損害保険を一体にした「超保険」などの商品・サービス開発を担当。執行役員名古屋営業第三部長、常務執行役員、常務取締役経営企画部長、副社長などの要職を経て、2013年6月に東京海上日動火災と持株会社である東京海上ホールディングスの社長に就任。16年4月に東京海上日動火災保険の取締役会長を兼務し、現在に至る。

#### ◆東京海上ホールディングス株式会社

2002年に東京海上火災保険株式会社と日動火災海上保険株式会社が共同で設立した日本初の保険持株会社。損害保険事業、生命保険事業、金融・一般事業を幅広く展開している。近年、欧米やアジアを中心とした数々の買収を通じて海外事業を拡大し、グローバルにバランスの取れた事業を展開。国内外の「総力を結集した」グループ一体経営を志向しており、永野毅グループCEOは「活力にあふれる主体的な人材と組織を原動力として、世界中のお客様に“あんしん”をお届けする『良い会社“Good Company”』を創りたい」と語る。

#### ◆東京海上日動火災保険株式会社

日本初の保険会社として1879年に創業した損害保険業界のリーディング・カンパニー。東京海上グループの中核保険会社。お客様のニーズに合った商品や質の高いサービスを通じ、「お客様や社会の『いざ』という時にお役に立つ」ことを目指す。個人や企業の様々なリスクを一つの商品でカバーする「超保険」など、常に業界を先取りする商品の開発にも取り組んでいる。「日本で一番『人』が育つ会社」を標榜し、持続的な利益成長の実現に挑戦する。2020年の東京オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーの一社。